



ID: 1255

科目名	健康スポーツ実習H(バレーボール)【26年度生用】			コード			
英語表記							
担当教員名	儀 尚申			年度	平成26年度		
基準年次	2年次	開講期	前期	単位数	1		
授業形態	実習	授業形式		履修形態			
授業概要							
バレーボールにおけるサーブ、レシーブ、トス、スパイクなどの個人技術やチーム戦略などについて学習し実践する。また、チームで練習してゲームを行うことにより、チームの課題を見付け克服し相手に応じて作戦をたてる。							
到達目標							
バレーボールの特性やルールを理解し、個人技術を習得する。また自他のチームを分析し、自チームの課題を見付け克服する方法を考案し、指導者としての資質や能力を修得する。							
授業計画							
第1回	オリエンテーション(バレーボール概論)						
第2回	個人技術1(パス、トス、スパイク、サーブ)						
第3回	個人技術2(ブロック)、チーム練習(ルール確認)						
第4回	個人技術3(二段トスからのスパイク)、チーム練習(サーブレシーブからのスパイク)						
第5回	個人技術4(クイックを含めたスパイク)、チーム練習(スパイクのコンビネーション1)						
第6回	個人技術5(時間差を含めたスパイク)、チーム練習(スパイクのコンビネーション2)						
第7回	個人技術6(バックアタック)、チーム練習(練習メニューの考案)、ゲーム						
第8回	個人練習、チーム練習(得意な攻撃パターンの考案)、ゲーム						
第9回	個人練習、チーム練習(レシーブ・フォーメーションの考案)、ゲーム						
第10回	個人練習、チーム練習、ゲーム、中間試験(ルールについて)						
第11回	個人練習、チーム練習、リーグ戦(自他のチームを分析する)						
第12回	個人練習、チーム練習、リーグ戦(自チームの課題を見付ける)						
第13回	個人練習、チーム練習、リーグ戦(自チームの課題を克服する)						
第14回	個人練習、チーム練習、リーグ戦(チーム分析レポートの作成)						
第15回	総括						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
出席、レポート、試験を総合的に判断して評価する			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				20	20	20	40
授業外学習			テキスト、教材				
参考書			受講生へのメッセージ				
日本バレーボール協会編「バレーボール指導教本」大修館書店							
キーワード							